

# 外科後期研修

## ● 研修責任者名

病院長・大阪大学医学部臨床教授 佐々木 洋（一般外科・消化器外科）  
外科部長 横山 茂和

## ● 概要

当科の基本的な研修内容は、外科領域での基本的診断・治療の習得です。当院外科業務では癌診療が最も多くを占めますが、虫垂炎などの一般外科疾患、救急疾患なども扱います。手術、化学療法、内視鏡的治療、緩和療法、救急診療、外科診断学、周術期管理など多岐な分野での臨床研修をしていただくこととなります。

手術については外科標準術式の習得が目標になりますが、能力次第では高度な癌手術を執刀してもらうこともあります。当院では研修医の先生にも積極的に術者をしてもらっています。また外科系救急疾患にも関わりますので、幅広い疾患を扱うための経験についても修練していただけます。専門的な外科治療を目指す先生にとっても、オールマイティーな力を身につける目的を持った先生にとっても当院での研修は登竜門として最適と考えます。

疾患により「上部消化管」、「下部消化管」、「肝胆膵」、「乳腺」、「呼吸器」の専門領域のスタッフに指導を受けることとなります。全員フレンドリーでマイルドな外科スタッフですので、伸び伸びと研修していただくことができます。

## ● プログラムの特徴

日本外科学会、外科専門医修練カリキュラムに従い、外科専門医制度修練施設である八尾市立病院において、外科専門医受験資格が取れます。外科専門医を取得しておかなければ消化器外科専門医、呼吸器外科専門医、救急専門医などのスペシャリティーを有する専門医受験資格が取れません。また、八尾市立病院研修中の2年目または3年目で、各専攻医の症例経験数の不足分（主として心臓・大血管症例）は、大阪急性期総合医療センターなどと連携して行う予定です。

## ● 主な設備

電子カルテ・麻酔・画像（放射線・生理・内視鏡）システムを中心とした独自の総合医療情報システムを導入しています。中央手術部門システムはICUを包括しており、世界的にも比類のないものであり、胸・腹腔鏡手術機器5台を有し、1室は液晶画面によるテレサージェリーが可能です。また、外来治療センターでの外来化学療法、内視鏡センターでの消化管内視鏡検査、超音波エコー検査なども外科独自に実施しており、消化器内視鏡手術も研修

可能です。なお、すべての画像は高精細画像とウェブ画像で参照できます。

● 主な症例数（平成22年1月1日から12月31日まで）

全麻症例	569件	腰椎麻酔症例	117件	食道癌切除	1件
胃癌切除	52件	大腸癌切除	98件	(結腸63 直腸35)	
乳癌切除	105件	原発性肝癌	11件	転移性肝癌	13件
膵癌切除	8件	胆管癌切除	7件	胆嚢癌切除	4件
胆石症	86件	鼠径ヘルニア	110件	虫垂切除	50件
腹腔鏡手術：胆嚢摘出	77件	大腸切除	40件	胃切除	14件

● 指導医からのコメント 外科部長 横山茂和

2年間の初期研修終了後、外科専門医になるための研修です。消化器外科（内視鏡・腹腔鏡下手術を含む）、乳腺外科、呼吸器外科、一般外科、救急総合診療科を診療責任とし、疾患別の指導体制を敷いています。研修医の先生方は担当医として常勤主治医から指導を受け、また、外科専門医・消化器外科専門医・乳腺専門医・化学療法専門医・消化器内視鏡専門医が指導を行います。

外科専門医（その後の消化器外科専門医を含む各学会専門・指導医）習得に十分な手術症例（心・血管外科を除く）を有しており、専門医制度規則（日本外科学会、日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本乳癌学会）による専門医修練施設です。